

月刊東乳商

第530号

東京都牛乳商業組合 平成23年3月20日

●URL <http://www.tokyo-gyunyuya.com>

E-mail tonyusho@forest.ocn.ne.jp

毎月20日発行・定価1部150円 1年1800円(郵便料共) (昭和47年2月22日第3種郵便物認可)

発行所

東京都牛乳商業組合

代表者 渡邊佳三郎

東京都千代田区神田紺屋町29

神田ISビル 〒101-0035

☎ (5295) 3721(代表)

FAX (5295) 3724

乳製品宅配管理システム

お求めやすい
価格に
なりました

市乳くん

お問い合わせ、資料請求は

0120-5959-92

株式会社オシカワシステム <http://www.oskwp.jp>

22年度東乳商研修会 全日程終了 4会場で100名が参加

東乳商の22年度研修会は10月～2月に4会場で開催し、全日程を終了した。
講師の中小企業診断士 佐藤卓先生は「宅配牛乳の価値を高めるお客様への生活支援」をテーマに講演された。また全国の優良販売店の事例を紹介し、受講者は熱心に耳を傾けていた。

今年度は昨年以上に若手店主の参加が多く、二部会場で行った研修後の懇親会で若手同士の情報交換をしている姿が目についた。
後半は協賛会員のシステム青葉 あんしん財団、日本酪農協同、イチネン、松本カンパニーを紹介、各社の担当者が自社の商品、サービスの説明を行った。

- 10/9 多摩1・2・3ブロック (立川市市民会館)
- 11/6 城西・城北ブロック (中野サンプラザ)
- 11/20 城南・山手ブロック (玉川区民会館)
- 2/19 中央・城東ブロック (タワーホール船堀)

テーマ「宅配牛乳の価値を高めるお客様への生活支援」

～解約防止への新たな挑戦～
中小企業診断士 佐藤卓

I 子育て支援で新たな顧客を獲得

～子育て世帯への便利提案～
1 赤ちゃんができたお母さんを応援
元気な赤ちゃんを産むための宅配牛乳を紹介します!!

①近隣の産科や保育園に宅配牛乳のチラシ設置
②1週間お試し券等の配布
③牛乳と一緒に届けることができる商品の紹介

☆「妊娠時に牛乳飲んで自分のため、赤ちゃんのためにカルシウム補給」を積極的にPR
2 赤ちゃんが生まれたお母さんの応援
育児で買い物に出かけるのが大変なお母さんを宅配牛乳が助けます!!

①母乳を助けるお母さんのための牛乳紹介
②粉ミルクや離乳食をお届けする育児支援サービス
③冷蔵庫の必需品(牛乳、卵、豆腐、納豆等)をお届けする宅配サービス
3 地域の育児生活情報の提供
新米お母さんに役立つ育児生活情報をお届けします!!

①新生児を見てもらうことができるお医者さん情報
②新生児をチャット預かってくれる保育ママさん情報
③子供を遊ばせることができる公園情報
☆子育て世帯は最近引越してきた人が多い

II 便利と安心で高齢者を応援

～中高年世帯への提案～
1 高齢者への声かけや生活便利サービス
ひとり暮らし、ふたり暮らしの不安を宅配牛乳が解決します!!

①後期高齢者は昼間の配達で手渡しが原則
②出てこないときや前回の牛乳が取り忘れの場合の確認コール
③電球の取り替えや買い物の代行は商店街に取り次ぎ
2 行政サービスとの連携
行政と一緒になささまの生活をお手伝いします!!

①安否確認緊急通報業者としての登録
②ケアマネやソーシャルワーカー等との定期的交流
③行政(保健・福祉等)の出版物配布
3 高齢者予備軍の健康サポート
健康が気になり出したあなただけの宅配牛乳健康サポート!!

①健康牛乳宅配業の存在をターミナル駅でPR(チラシやカウンター)
②工場や事業所での定期的出張販売
③牛乳健康法のチラシ配布
☆「買いものに行きたいけれど、毎日行けない世帯、増えています」
・パナシヨップの何でもやる店、参考になる

III 宅配機能を活かす品揃え

～新しい流通システムの提案～
1 多様な品揃えで宅配の便利さアップ
冷蔵庫の品揃えはおまかせ下さい!!

①牛乳と乳製品(3A Day)は積極的にPR
②豆腐・納豆・鶏卵・デザート等は1週間毎に御用聞き
③旬の果物を全国の販売店から直送
2 店頭での取り寄せ
①お買いものついでに寄っていただきカタログで取り寄せ(菓子材料等)
②乳製品の贈答もお店で積極的に扱う
③のぼり旗等でお店の存在をPR
3 御用聞き機能を活かす地域事業者との連携
地元商店街と一緒にみなさまの生活をお手伝いします!!

①味噌・醤油・お米等の重い物は米屋さんや酒販店に取り次ぎ
②水漏れやふすまの張り替え等は建築業者に依頼
③お弁当の配達も積極的に実行
☆「土、日で料理教室開催、牛乳販売店の奥様のアイデア・ボランティア活動の紹介」

経営研究会活動報告② 江東支部のミルクール イワマを見学

今年度の事業計画のひとつである若手中心の「経営研究会」の活動として、全改協主催の「優良事例発表会」(2月8日開催、月刊東乳商第529号に関連記事掲載)で全国第二位となる優秀賞(農林水産省生産局長賞)を受賞したミルクールイワマを2月23日(水)午後、訪問した。当日の参加者は11名。
店主の岩間治夫氏は、10年前にお店の経営を引き継いだ二代目、ご両親も現役で配達をしているとのこと。お店はJR京葉線越中島駅から徒歩5分の住宅地。



岩間氏は①利益の追求、②経費削減への追求、③お客様満足への追求、④楽しむ商売の確立の4つを経営信念と活動方針としている。
営業面では販売店から半径2kmの範囲内の効率の良い獲得を目指しており、そのために3～4ヶ月に1度のペースで営業営業による顧客開拓を行っている。2月は75軒の新規契約があった。さらに自店社員による飛び込み営業スタイルの拡販も行っており、月10～15軒を新規契約しているとのこと。また紹介、自店店頭での販売会などの無営業で月平均5軒の成約に結び付けている。さらに成約したあとに料金が安いなどのクレームを無くすため、成約時に価格表と商品カタログ一式と申込書をセットにしたファイルを渡す。価格表には1週間の本数別・商品単価別に1ヶ月4週間の金額が明記されている。商品別に効能書を処方箋として作成している。

営業活動を支援する目立つ販促促進も積極的にやっている。リムジン風配達車両と改造3輪バイク、派手な店頭(ポスター、自販機、看板、登り旗等)、店舗紹介チラシの配布など、お店の知名度をUPさせるために様々な工夫をし、実践している。
顧客サービス面でも解約した顧客に1ヶ月無料チケット付挨拶状(写真掲載)をお渡しし、いつでも復活しやすいような細かい配慮がなされており他にもいくつものアイデアを具体的な施策として展開している。
参加した若手店主だけでなく組合役員からも種々の質問があり、参加者一同、目から鱗(うろこ)が落ちたような気持ちとなるほど有意義な見学会となった。



○明治乳業東北工場(宮城県大和町)を始め、守谷工場(茨城県守谷市)や群馬工場(群馬県伊勢崎市)など関東地域の工場が操業を停止している。
○東京都が16日から学乳供給を当面、休止。
○雪印メグミルク関係では日本ミルクコミュニティ野田工場(千葉県野田市)、みちのくミルク(宮城県大崎市)、いばらき乳業(茨城県水戸市)の3工場が製造を停止。
○森永乳業関連では、東北森永乳業が津波で被災。

東乳商組合員の皆様のご親戚、知人の方で今回、罹災された方々には心よりお見舞い申し上げます。

東乳商 決算理事会及び総代会のお知らせ(予告)

22年度の決算及び23年度の事業計画に係わる決算理事会、通常総代会の日程が下記のとおり決定しました。該当者の方は出席をお願いします。

1. 理事支部長会(決算理事会)
日時: 5月7日(土) 午後5時30分
会場: 東京都江東区(センター) (飯田橋) 五階セミナー室
出席者: 理事及び支部長
審議事項: 総代会提出議案書の審議
(招集通知書は4月下旬発送予定)

2. 第51回通常総代会
日時: 5月28日(土) 午後5時
会場: 弘済会館(麹町)
出席者: 総代、理事、支部長
(招集通知書は5月中旬発送予定)

東日本大震災関連情報

酪農乳業界にも甚大な被害

3月11日の東日本大震災の影響が東乳商各組合員の販売店にも宅配商品の欠品という形で出ている状況と思われるが3月15日付の酪農乳業速報から3月14日現在の乳業メーカーの状況を速報する。

たのもう君II 機能UP!!

顧客フォローから 営業支援まで

宅配管理システム	顧客管理システム	CTIシステム
たのもう君	Apoむすめ	地図システム
地図システム	卸・財務管理システム	ハンド君
	自販機管理システム	ベンダーマン

システムの負担軽減→月16,800円より(5年リース)
東乳商協賛会員 お問い合わせは **0800-111-8000**迄
(株)システム青葉 〒286-0033 成田市花崎町146-8 成田フラッツ204 TEL 0476-20-1332



もつとミルクで健康生活

〜しっかり成長し、ずっと健康を 保つために牛乳・乳製品が応援〜

「新生活のはじまり＝食の自立の時」

春は、進学する人、社会人になる人など、新しい生活のはじまりとともに、一人暮らしをはじめめるひとも多い季節。生活環境が変わることと、食生活にどのような変化が起きているのでしょうか。

ひとつは朝食の欠食率の増加があげられます。平成19年度国民栄養調査の結果から朝食を取っていない人の割合を見ると、15〜19歳は男性13.4%・女性11.5%であるのに対し、20〜29歳では男性28.6%、女性24.9%と2倍以上になっています。

また、同調査では、朝食の喫食状況別に夕食時間や、野菜摂取量も調べています。朝食を取っていない人は、取っている人にくらべて、夕食が午後9時以降になる人が多く、さらに野菜を食べる量が350gに満たない人が83.7%と高い割合を示しています。

これは、それまで誰かに食事のしたくをしてもらえたり前だった生活から、自分自身で食事を組み立てる生活に変わったことが大きな理由といえそうです。新生活の始まり、それはまさに食の自立をはじめる時なのです。

「若い世代に高まる食生活の乱れ」

大学生協神戸事業連合が行った学生調査「大学生の食生活レポート2006年度版」によると、主食・主菜・副菜がそろった食事を1日2回以上している人は38.1%、1日1回の人は48.9%、ほとんどしていない人は13.0%でした。

昼食を外先ですませることが多くなったリ、アルバイトや残業で夕食が遅くなると、お菓子を食べて空腹を紛らわせたり、インスタント食品に頼ってしまうこともあるでしょう。

そのような食事では、一時的にお腹がいっぱいになっても、ビタミンやミネラルなどの不足は解消されません。また、栄養補給のためのサプリメントも利用していても、足りない栄養のすべてをまかなえるわけではなく、複数のサプリメントの誤った服用で、体調が悪くなってしまう例もあるようです。

「はじめよう！ バランスのよい食習慣」

では、どんな食事を心がければよいのでしょうか。

望ましい食事の組み合わせは、
(1) エネルギー源となるごはんやパン、麺などの主食をしっかりと食べる。
(2) 野菜のおかずや、野菜がたっぷり入った汁物を1〜2品取る。
(3) 肉や魚などのたんぱく質源となるおかずは1品にする。

(4) 牛乳・乳製品や果物をバランスよく組み合わせる。
この4点が基本です。
楽しく食事をすることも大切ですが、バランスよく食べることが必要です。

これまでこうした食事ができていなかった人は、まず1日1回から習慣づけ、少しずつ回数を増やしていくことを実践するとよいでしょう。

「取り戻そう！ 毎日の牛乳習慣」

前出の大学生協の調査では、牛乳・乳製品の利用状況に関して「毎日飲む」人が全体の46.3%に対し、「3日に1回くらい」の人が28.7%、「ほとんど飲まない」人は25.0%もいる結果でした。給食がある小中学生の頃には毎日飲んでいた牛乳も、卒業後の生活の中で、習慣的に飲む人は減ってしまったようです。

牛乳は骨や歯をつくるカルシウム補給の役割だけでなく、カラダに必要なビタミンやミネラルを豊富に含みます。

いろいろな飲み物のビタミン含有量をくらべてみると、コーヒーやコーラではほとんど摂取できません。また、野菜や果物のジュースからビタミンA、Cは摂れますが、B群やDの摂取はあまり期待できません。

その点、頼りになるのが牛乳。実は、ほとんどの種類のビタミンを含んでいるのです。そして、毎日のカルシウム摂取にも役立ちます。カル

シウムの場合、コップ1杯でなんと1日の摂取基準の約1/3が満たせるのです。

コーヒーや清涼飲料水、ジュースなどを飲む機会が多い人も、そのうちの1回を牛乳に変えるだけで、手軽に栄養バランスを整えることができますので、毎日牛乳を飲む習慣をつけていきましょう。

「プラスミルクの食習慣」

牛乳は、スーパーやコンビニエンスストアなどで手軽に買うことができます。外出先では200mlの飲みきりサイズ、自宅では500ml〜1リットルパックを選ぶなど、上手に使い分けましょう。ひとり暮らしの場合、1リットルは多すぎると思うかもしれませんが、経済的で、毎日飲む習慣をつくるきっかけになります。スープなどの料理に使うのもおすすめです。

また、ヨーグルトやチーズなどの乳製品も上手に取り入れていきましょう。忙しい朝には、シリアルに牛乳の組み合わせからはじめてみてはいかがでしょうか。シリアルバーやヨーグルトに野菜や果物をプラスするとよいでしょう。

サラダの場合、グリーンサラダではなく温野菜サラダを選ぶようにしましょう。野菜は火を通すとかさが減り、たつぷり食べることができ、鍋を使って茹でるのが面倒でもレンジ加熱なら簡単。洗った野菜を好みの大きさに切って器に並べ、ラップをして加熱します。好みのチーズといっしょに食べたり、ヨーグルトを使ったドレッシングをかけたりと、乳製品との相性もよいのでおすすめです。

身長の変化など、目に見える成長があまり感じられなくなっても、体を作るためには、きちんとした食事が必要です。毎日の食事にプラスミルクで、バランスよく栄養摂取していきましょう。

◆◆◆春野菜のヨーグルトピクルス◆◆◆

「材料4人分」

- ・春キャベツ100g・人参1/2本・キュウリ1本・セロリ1/2本・新玉葱1/2個
- ・漬け汁(ブレンヨーグルト100g・酢25ml・砂糖大さじ2・塩小さじ1/2)

「作り方」

(1) 春キャベツは一口大に切る。人参は5mm角

の棒状。キュウリ、セロリも同じような大きさに切る。玉葱は薄切り。
(2) 海水ぐらいの塩水に漬けてしんなりさせる。
(3) 水気をよく切り、合わせた漬け汁に30分以上漬け込む。
(冷蔵庫で保存し、2〜3日まで)
※好みて、ショウガや赤唐辛子を入れてもおいしい。
(Jミルク資料より)



改善協版

新春懇親会を開催

平成23年2月21日(月)16時より18時までホテルジュラクにおいて都改協23年新春懇親会が開催された。参加者は、理事相談役4名除く役員13名、メーカーは1社除く6名、事務局は2名除く3名合計22名であった。

因みに昨年は25名で、今回は全額の会費制で行われ、まず依田会長の挨拶で始まった。

依田会長の挨拶要旨

今年度も財政が厳しく、皆様に大変ご迷惑をおかけし又ご協力を頂き申し訳ありません。本日も多額な会費のご負担をお願いいたしまして誠に恐縮でございます。会員販売店の減少に歯止めがからず従来から経費の削減を進めて参りましたが、今年度から会合を殆どやめるなど、より強く経費の削減を行ってまいりました。しかしやはり親睦も必要かと存じ又要望の声もありましたので開かせていただきました。これからは近い将来赤字にして次に引き継ぐことにしたいと存じますので宜しくお願ひ申し上げる所存でございます。

また、全国優良事例でミルクールイワマさんが優秀賞に輝いたことは東京都としては10年ぶりとして紹介をされた。

渡邊理事長の挨拶要旨

ご挨拶の中で全乳連の財政再建について触れられ、従来大きな赤字が続いてきたが改善を進めトントンになる方向であり都改協も取り組んでいかなければならない。また、全国優

良事例でミルクールイワマさんが優秀賞に輝いたことに触れられ、東乳商経営研究会のメンバーが訪問するとのお話であった。



川幡副会長の乾杯挨拶要旨

牛乳のチャネルは必要だ。メーカーは生き残りをかけている。協会も改善を行っていないかなければならない。全改協に対しても改善の提言を行っているとお話。
河野副会長からユーモアたっぷりの中締めで会を終了した。

アンケート実施(2月24日)

1月に主要牛乳販売店に配布された下記資料に対するアンケートを実施した(20店)

【資料1】牛乳販売店消費者ニーズ把握実態調査事業調査報告書
(インターネットを通じ全国の宅配牛乳販売店利用者等にアンケートを行い当該業界に対するニーズを把握したもの)

【資料2】販売拡張の為の調査概要
(消費者ニーズの変化に的確迅速に対応して効果を挙げている拡張方法を調査分析し普及させて拡張方法の向上に寄与するもの)

関東甲信越ブロック会議

全改協事業の今年度最後の行事である関東甲信越ブロック会議は3月5日(土)に計画されている。